

平成21年度 第2回研究企画委員会

議 事 録

1. 日 時:平成21年7月23日(木) 15:00～17:00
2. 場 所:日本応用地質学会 事務局会議室
3. 出席者:大塚委員長,長田副委員長,武田委員,濱田委員,中尾委員,笠委員,品川委員,中曾根委員(代理:正野),江口委員,阪元幹事

4. 討議資料

- 平成21年度第1回研究企画委員会議事録(案)……………(21研企 資)
- 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)第9回議事録(案)……………(21研企 資 -1)
- 応用地形学研究小委員会活動報告 ……………(21研企 資 -2)
- 拡大総務委員会報告 ……………(21研企 資 -1)
- 平成21年度第1回事業企画委員会議事録(案)……………(21研企 資 -2)
- 平成21年度第1回理事会報告……………(21研企 資)
- 50周年記念出版物について……………(21研企 資 -2)

5. 議 事

5 - 1 . 前回議事録の確認

案のとおり承認した。

5 - 2 . 研究小委員会活動報告

(1) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)…江口委員

【報告事項】

- ・第9回委員会(平成21年6月17日開催)の内容についての報告。
- ・技術書原稿について、個々の細かい議論を行った。
- ・修正意見を基に修正した原稿について7月末を目処に集約する。
- ・技術書作成の全体スケジュールを見直したところ、約3ヶ月ずれ込みそうである。

【意見等】

・技術書のタイトル、販売の具体(方法、見込み部数、想定価格など)について、現段階から議論しておいた方がよい。

(2) 応用地形学研究小委員会(第三期)・・・中曽根委員(代理:正野)

【報告事項】

- ・第9回委員会(平成21年6月24日開催)の内容についての報告。
- ・委員による研究報告、現在の取り組み(応用地形学図凡例、巡検マップなど)の内容についての報告。
- ・研究企画委員会内規、法人化に伴う課題についていくつか疑問が挙がった。

【意見等】

- ・研究小委員会の名称は、技術事項に関する研究を行う特別委員会との区別を明確にするためのものであった。現時点では、特に名称にこだわる必要はないと思われる。
- ・研究小委員会に係る法人化に伴う様々な課題について議論した。

(3) 応用地質学における地下水問題研究小委員会・・・長田副委員長

【報告事項】

- ・第13回委員会の内容についての報告。
- ・50周年記念出版物の原稿について議論した。
- ・WG2の成果公表の方法に関して、今秋の現地見学会開催は困難な状況となり、とりやめ。

5 - 3 . 常置委員会 / 理事会報告

(1) 拡大総務委員会・・・笠委員

【報告事項】

- ・前回委員会(平成21年6月19日開催)の内容についての報告。
- ・研究企画委員会に対して、「シンポジウムのテーマが類似したものが続いているため、災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会の成果をシンポジウムで発表することを進めて欲しい。」「学会としての次の研究テーマを発掘して欲しい。」との意見があった。
- ・日本工学会からの依頼に対して、研究企画委員会が作成した案が了承された。
- ・拡大総務委員会に引き続き、現場見学会が開催された(北海道電力京極発電所)。

【確認事項】

- ・研究企画委員会に対する意見に対して、今後取り組んでいくこととする。

(2) 事業企画委員会・・・中尾委員

【報告事項】

- ・平成21年度第1回委員会(平成21年6月5日開催)の内容についての報告。

・現場講習会については、地下水問題研究小委員会WG2での対応が困難となり、現時点で実施は未定。なお、講習会については、座学＋現場が好評であったため、今後もそのような形を計画していきたい。

【確認事項】

・講習会のみならず、例えば応用地形学研究小委員会の巡検マップ出版など、各研究小委員会の活動とのタイアップを今後さらに図る必要がある。

(3) 理事会・・・阪元幹事(大塚委員長の代理で出席)

【報告事項】

・平成21年度第1回理事会(平成21年7月17日開催)の内容についての報告。

・委員交代(佐々木 中尾)が承認された。

・地球惑星科学連合大会セッションについては、「学会としてセッションを継続すること」「千木良理事、長田理事をそれぞれ正副プログラム委員として選出すること」「プログラム候補選定、プログラム委員への支援は研究企画委員会が行うこと」という枠組みが了承された。

・日本工学会からの依頼に対して研究企画委員会が作成した案について江崎会長から意見が出されたため、修正する必要がある。

【審議事項】

・地球惑星科学連合プログラム副委員について、長田副委員長より就任の了解を得た。活動に対しては、研究企画委員会が支援していくこととする。

・日本工学会からの依頼に関しては、理事会での意見に沿って修正した案について議論し、最終案を確定した。締切まで時間もないことから、この案を事務局を通じて先方に提出することとする。

5 - 4 . 設立50周年記念出版物について

・大塚委員長より「設立50周年出版物に関しては、作業が中断した状況であるため、高橋氏(産総研)と共に、当面、現状把握、リスケジュール、体制再構築を図っていくこととしたい。」旨の報告がなされた。

5 - 5 . その他

・次回委員会は、9月30日(水)15:00から学会事務局にて開催する。

以 上